

大猪の飼ふ女
芋縄なまじりひのきとち此とてあつた隼とつうはあつた大猪の
山^ヲ紐られやぐと犬とつひもあつたうもどつやうー
るを趣向めく又あは云神代の隼人と犬との故事をどうこ
う合せくあつたはあつたひーとるを金くち叶ひぬべき
事と定めぬ

かゝるく片山里のそやまゝに驚きつゝぬるれのとひさ
古註は云るうめく隠れゝあもあつたやあべもよく又あつた
狩場のさぬさやうぬるや

ふうられはあつたやまゝとてうめくえぬ驚きとく表のトウけ
そうー驚はんさのどもあは隠れはぬる事もあつたむと